



えいご 6年6日 社会福祉法人
 ねぼし No. 令和8月 秋川あすなろ会

西瓜割り みごとな西瓜の収穫、今年も子ども達が余りある体験をしていました。

毎年のことですが...

この数年、職員の仕事作りの腕前も上達して本格的な体験、基本的な事から投げかけられるような感じです。

しかも、近年令期から目にふれ、手にふれ、食べる過程までの経験が積み上げられています。

先日、私も運ぶ園に顔を出した時、丁度西瓜割りの時でした。

今回は、知恵が高いという事も有り、一歳近くは

まだ、各部屋でそれは楽し気に... その後は

黄色、赤色、人ごみ大々西瓜を目の前で割

り... 歓声が挙がりました。

こんな事は、あたしに来るまで、まだ何度か

食べたけれど、収穫出来るまでのこと

私も、馳走になり、また昔色でしたか、味は程

高で買ってきた物より、味は上でした。

すいか、アレルギーがない事を思わず祈っていました。

「すいかの匂いなんて昔から夏の風物話

みたいで、昔は、こんな食生活、村や町でも子

ども会などがあったものですね。

両園の子ども達は、幼い頃の思い出として記憶

して欲しい、ひとときも思い出しました。

考えてみると、両園ともテレビでニュースに

なるような、実体験(原体験)をしていか

ず、子ども達だと、つくづく思い、満足しています。

離れてみて、つくづく現場が子ども達と実際に

働ける事が、幸な時代だったなあ...と

園に来ると、気持ちの元気がきます。

子ども達に、ありがとう、職員の方々に、ありがとう。

「〇〇先生じゃないですか？」

先日、歯科医院の待ち合室のことですが...

小学一年生らしい女の子が一人で待っているのが

「えらいね、一人で待っているの、と声を掛けました。

「うん、お母さんと妹は中なの、私は絵本読んで

待つているの、と教えてくれました。

「本当にえらいね、その絵本私にも読んでくれますか？」

「まだあまり上手じゃ

ないの、夏休みに読むの...と。

私が表紙をみて、「少レだけ、少レだけ」という

絵本でいい絵本ね、おぼああんも大好きなの

と話し掛けると、知っているのと...

子どもを見ると、つい声を掛けなくなる癖が出て

しまいます。

その時、隣に空いていた見知らぬ女の人から私に

今先生と違いますが、かと話掛けられました。

私は一瞬、びっくりして、声を掛けられても誰だか

記憶の中に浮かぶ、内心、どなただったか、お

一度会った人が、保護者？卒園児さんの？

勇気を出して、恥を覚悟で、失礼ですが

どなたでしたか、ね...

ご免なさい、私も初めてです、実は私は

〇〇で保育士をしています、当園の園長さんが

ある時に、今さんという園長さんかいて、こんな

な保育士をしていて、こんな障がい児保育を

している、保育士達も一丸となって、まともな

いる、若うたら行きたかった...と話を

しました、そこで、自分なりにイメージを持って

いたのです、つい声を掛けました。

(びっくりするやら、少レ嬉しいやら、恥しいやら、思い

事出来ないと、思ったり人の言葉、そ人を

殺してもいい、元気がつけます、今からでも遅

くない、気持ちのよい声掛けを心掛けたい、と

と、思い、ことある、汗ひびきの瞬間でした。